

大人になるということとは？ 日常生活の自立・経済的な自立・精神的な自立・・・

高校を辞めてしまったが、高卒の資格をとって、大学に進学したい・・・。

高校を中退してからずっと家にいる。誰かと話をしたい。いつも一人ぼっちかも。

就職したが、仕事先で人間関係をうまく築けない。やめたい・・・。

高校を中退した17歳～23歳の若者の来室相談が多かった6月でした。

※ 自立とは？

- ・日常生活の自立（健康を継続するため、衣食住、その他に関する知識・技術を持っている。）
- ・経済的自立（自分の生活にかかる費用を自分で賄える。）
- ・精神的自立（家族や地域との関わり方を理解している。一人でも生きていける気持ちの強さ、逞しさもっている。人と関わるための礼儀やマナーを心得ているなど。）

大学院を卒業しても働き口が見つからない若者がいることや奨学金の返済ができず、大学卒業時に800万円の返済額がある学生がいることなどの社会問題が、以前テレビで報道されていました。若者にとって、大変厳しい社会状況があります。

「将来どのような生き方をしたいのか」 家庭でも機会を捉えて話し合い、また、学校での進路学習を通してしっかり考えなければなりません。年齢的に大人になっても、経済的に自立していないということは、誰かに扶養してもらわなければならないということです。誰かに扶養してもらうということは、自由に生活できないわけですし、夢を持ってないし、生きていても充実感がもてないという悲しい生活になってしまいます。「日常生活の自立」「経済的自立」「精神的自立」、この3つの自立を成し遂げたとき、初めて大人になったといえるのだと思います。

（吉見祐子著「きらきら輝きながら最後まで」リーブル出版より部分引用しました。）

リスタートクラス 「ハローワークデビュー」

Aさんが、突然、「アルバイトしたいので、ハローワークへ行きたい」と言ってきました。自分なりにネットで求人情報を検索して、応募したい求人目処がついているとのこと。「スーパーの品出し」の仕事です。

3日後、ハローワークへ向かいました。登録手続きをし、窓口の方と職業相談。時間帯、日数、勤務地、仕事内容などの希望を聞かれ、現在出ている求人とマッチングしてくれます。Aさんは、応募したい求人が既にあつたので、それを伝え、紹介状を発行してもらいました。紹介状とは、「ハローワークから応募先の会社宛にAさんを紹介します」という書類です。そして、ハローワークの帰りに履歴書を購入し、教育相談室で作成しました。

履歴書作成に当たって、多くの方が悩むのが、志望動機です。Aさんの場合は、通信制に通う高校生なので、「勉強と両立できる時間帯での仕事をして、趣味のためにお金を貯めたい」という率直な内容にしました。その数日後、面接と簡単な試験があるという情報があつたので、その対策のために模擬面接と練習問題に取り組みました。そして見事に合格。いよいよ就労デビューです。朝起きるのがちょっと遅い生活を送っているAさんにとって、午前6時から仕事に遅刻しないように通うことが最初のハードルのようです。



< 適応指導教室 (シャイニングの活動) >

～才能を発揮する活動になりました～

先月・今月と物づくりの体験が続きました。先月は**フラ板キーホルダーづくり**に挑戦でした。ホルダーに描くために用意してきたものは分厚い漫画本。こんなに細かく面倒なものが短時間で描けるのかな・・・？と。しかしそんなお節介は無用というもので、集中力と才能(?)で絵を完成。次はオープンでの焼き方作業。熱でプラ板は見るも無残な形に変わっていくと、「ウワッ。」という嘆きの声。引き続きスーツと板が平らになっていくと「オーッ。」という歓声へ。そして金具を付けて仕上がると成就感いっぱいの表情に。こういう物づくりがずっとだといいなあと本心をもらす。作品をプレゼントし合い、物づくりを満喫する1コマになりました。

雨で畑作業が延期になり、**イヌのマスクットづくり**や**紙皿回し**にもチャレンジしました。不要になった洋服を裁断し、丸めたり糸で結わえたり、縫う必要が無いので短時間のうちに手の平サイズのかわいいイヌの出来上がりです。たれ耳やたれ目のイヌもいれば、デビルマンのような破天荒なイヌ?やあどけないブタも誕生し、笑いと遊び心が錯綜する時間になりました。また、市販の紙皿を数枚重ね下に糸底をつくり、早速回してみました。そこは中学生。わずかの練習でマスターすると、他の人の皿でも挑戦し、楽しんでいました。

月、水、金の学習もがんばっていますが、木曜日の体験活動ではまた違った表情や才能を発揮する通級生です。**身辺自立**や**つながる力**を養う機会になればと思っています。

「気楽に話し合う会」ってこんな会です!

今年度2回目の「気楽に話し合う会」を開催しました。**初めて参加する親御さんが、どんな会なのだろうと、不安気に出席されました。**しかし、会を重ねて参加している保護者の方がいろいろと心の内を語る中、共通する思いを見出してきたのでしょうか。目を潤ませたり、盛んに頷いたり・・・。

親御さんにしてみれば、子どもが学校を休むようになると、四六時中頭から離れることもなく、力づくでも行かせようと強いたり、自分の子育てを悔いたりとの連続なのです。

先輩の親御さんは、そのように**出口の見えないトンネルにいた苦しい体験を率直に話してくださる貴重なアドバイザー**です。決して気楽ではないですが、悩みを分かち合う機会にできれば・・・と願っています。



完成した「イヌのマスクット」



7月の活動

在籍 シャイニングクラス 2名
リスタートクラス 5名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○月曜日 理科、数学	○月曜日 自主活動
○水曜日 国語、英語	○木曜日 体験活動
○金曜日 社会、体育	
○木曜日 体験活動(月2回)	

- ◆ 体験学習Ⅵ 7月4日(木)
めざせ名人! 紙皿回し
プラトンボ・ホイッスルづくり
- ◆ 体験学習Ⅶ 7月25日(木)
パステル画を描く



プラ板キーホルダー

あ と が き

市民プラザホールの大きな七夕に「お母さんとお父さんがけんかをしませんように。」の短冊を見つけました。中学生に話をしたら、仲が良過ぎてべたべたされるもいやなんだよなあ。・・・夫婦仲の良さをうらやましく思いながら、中学生の本心はどこにあるのか考えてしまいました。

教育相談室担当者

- ダイヤルなんでも相談 鈴木
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング) 林・小野
- 青少年の自立支援(リスタート) 菖蒲
TEL 22-2111
(内線 445、448)